



CRANE NUCLEAR

"VALVE AND SERVICE SOLUTIONS FOR THE INDUSTRY"

VDS-Series 診断システム空気式作動弁 テスト

VDS-Series 診断システムは最先端技術を駆使し、運転を止めずに診断 (非侵害診断) することにより発電所用の空気式作動弁 (AOV) 試験プロセスの合理化を提供いたします。
このシステムは4本の固定チャンネルの他、16本のユーザ定義可能なデータ・チャンネルから成り立ち、テストされるバルブのタイプやサイズ、パラメータがカスタマイズ可能なモジュール設計を特色とします。

VDS-Series 診断システムは、どのメーカーの空気式作動弁 (AOV) でもテストが可能であり空気式作動弁テストに必要な全てのハードウェアおよびソフトウェアを含んでおります。
装置およびソフトウェア・プログラムは10CFR50、アベンディックスB品質保証プログラムの下で開発されており、またすべてのソフトウェア・プログラムはIEEE730.1に従って作成されております。
このようなソフトウェアの開発は過去の記録の追跡を可能にし、データの保全を促進します。

**高度な非侵害診断技術は
確実な作業を約束し、
傾向予測メンテナンスを提供します**

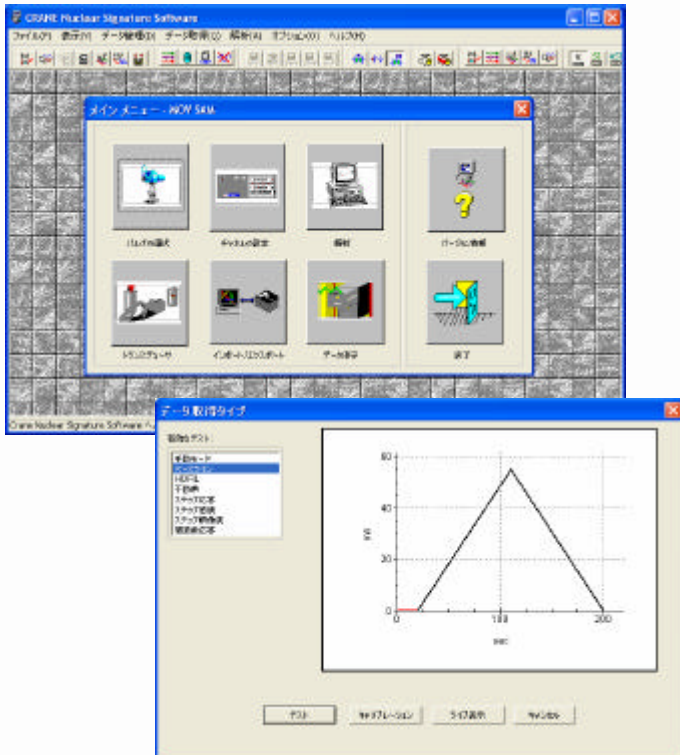


- 運転を止めることなく診断が可能
- 最新技術による診断プロセスの単純化
- プラント内で持ち運び可能なポータブル設計
- 単体および複合システムの双方で使用可能
- コンパクト化に伴う実用性と低価格設定
- テストプロセスの簡略による作業時間の短縮
- 運転費用、人件費の削減

空気式作動弁テスト用 VDS-Series 診断システムの特徴

空気式作動弁プラットフォームは、下記の項目をチェックするのに必要なハードウェアおよびソフトウェアを含んでいます：

- バルブの開き
- 最大量時の開度計シグナル
- 流動時のバルブ・ヒステリシス差
- 流動時のリニアリティ差
- 最小ベンチセット
- スプリング率・シート力
- 直接軸推進力
- 最大量時の圧力
- 流動時のポジション・ヒステリシス差
- I/P出力圧力最小の信号
- 流動時のI/Pヒステリシス差
- 空気供給圧力変更
- 静止時の反復差
- ステップ・インプットの反応時間
- ステップ・インプット速度
- ステップ・インプット・オーバーシュート
- ステップ・インプットセッティング時間
- 最小量時の開度計シグナル
- 標準量時の開度計シグナル
- 周波数反応、フェーズ遅れ
- 平均摩擦
- 最大ベンチセット
- アクチュエーターおよびスプリング、シート力
- 最大量時の圧力
- 標準量時の圧力
- 流動時のポジション・リニアリティ差
- 流動時のI/Pリニアリティ差
- 静止時のヒステリシスと不感帯差
- 静止時のリニアリティ差
- ステップ・インプット・デットタイム
- ステップ・インプット・アンダーシュート
- ステップ・リゾリューション
- 周波数の反応・希薄。
- びびり(スティック・スリップ)



エンドユーザー ベネフィット

- 異常値部分に目印を付けます
- センサーを校正します
- 報告書をカスタマイズします
- データを外部のデータベースへエクスポートします
- テスト条件の記録をします
- バルブの性能を分析します
- データをグラフィック化し比較し対照します

お問い合わせ先

CRANE Nuclear, Inc.
電話：045-534-1482
FAX: 045-534-1483
nihongo@cranevs.com
www.cranenuclear.com